

7月大野に降った大雨

芦北町立大野小学校6年

一谷瑠那
宮下來夢

才新麻綾 平野優姫
山本唯菜

～流れる水のほとけさへ

1 研究の動機

2020年7月3日(金)夜から大雨がふりはじめた。夜中にふった雨で土砂が家の中まで流れ込んだ。次の日、まわりをみたら田んぼにも土砂が流れ込み被害をうけていた。佐敷川は、はんらんして、佐敷小にも土砂がたくさん流れこんでいた。私達の大野小も私達の家のまわりも大きな被害が出た。そこでどれくらいの水が流れてきたか、流れる水の働きを調べることになった。

2 研究内容

① データを調べる

② 現地で調査する

③ 実験する

3 研究方法と結果

資料①

① 芦北町役場に大野の雨量のデータをもらい、グラフ化した。インターネットで7/3～4の雲を調べた。



2019は、大雨ではなく平均的な雨が降っていた。
7月の総雨量は2019(724mm)、2020は(834mm)で2倍の雨が降った。
2020は、3日～4日に1cmの雨が降っている。
3日4日の雨量を調べると4日(1時から8時)間で、という間に降ったことがわかる。その時、あつ雨量があったこともわかった。

② 5人は大野のいろいろな場所へ行った。その場所に出かけて、流された土の量や岩の大きさを調べた。

資料②



資料③

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

5/17

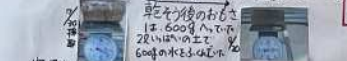
5/17

5/17

5/17

③ 実験ア

流れ出した土砂はどれくらい水分を含んでいるか

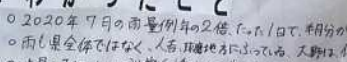


実験1-①雨量で流れる水の動きにちがいがあろうか

② 同じ大きさのジョウロ1つと2つで水の量を比べ、量2杯の土砂の間に3リットルに水を注いだ。



③ 同じ大きさのジョウロ1つと2つで水の量を比べ、量2杯の土砂の間に3リットルに水を注いだ。



④ 同じ大きさのジョウロ1つと2つで水の量を比べ、量2杯の土砂の間に3リットルに水を注いだ。



⑤ 同じ大きさのジョウロ1つと2つで水の量を比べ、量2杯の土砂の間に3リットルに水を注いだ。

⑥ 同じ大きさのジョウロ1つと2つで水の量を比べ、量2杯の土砂の間に3リットルに水を注いだ。

4 わかったこと

- 2020年7月の雨量は例年の2倍、1日で、半月分の雨に達した。
- 雨は県全体ではなく、大野地方に降っている。大野は、佐敷川に少く、大量の雨は大きな被害(橋を流す、道路を流す)を及ぼすことがわかった。
- 東馬場大野、短時間で山を崩すことがわかった。岩は石垣ではなかった。

5 感想

私は大野に降った大雨で、大野地方に降っている。大野は、佐敷川に少く、大量の雨は大きな被害(橋を流す、道路を流す)を及ぼすことがわかった。大野は、佐敷川に少く、大量の雨は大きな被害(橋を流す、道路を流す)を及ぼすことがわかった。